



ココバッグの更新は3年が目安です！

ココバッグのヤシガラ培地は永久に使うことはできません。長い期間、同じココバッグで栽培を続けていると、培地の物理性・化学性が変化し、しおれや生理障害が発生したり、収穫量が減ってしまったりすることがあります。

生育、収穫量を安定させるためにココバッグは定期的に交換しましょう！



◆ 何作も使ったココバッグはどうなっているの？

① 培地の三相分布が変化

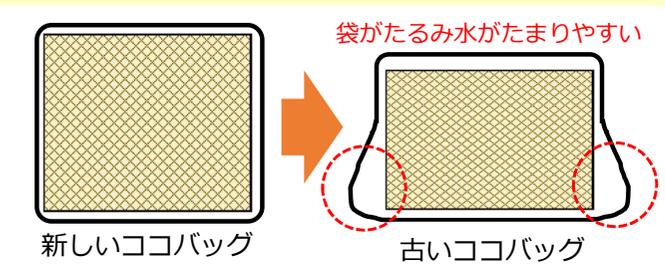
植物根の蓄積、苗に使用されていた培土の混入、培地のつぶれなどにより、培地の気相や液相の割合が減少し、酸素不足や水分不足に陥りやすくなります。古い培地は、一見、保水性が良くなっているように見えますが、実は植物が吸水できる水分としては減少しています。袋が劣化して破れてくると培地が乾燥しやすくなります。



ココバッグ復元直後の三相分布

② ヤシガラ培地のつぶれ

培地の繊維がつぶれてきてしまい、培地を包んでいる袋にはたるみが出てきます。たるんだ袋には排液がたまりやすくなります。ココバッグ栽培では、植物の根はバッグの底部に集まる傾向があるため、袋の排水不良により根痛みが起きてしまうことがあります。



ココバッグの外見の経年変化

③ 培地の化学性が変化

培地内に残った肥料成分により、培地のECが高くなったり、pHが適正範囲から大きく外れたりすることがあります。ココバッグ栽培は培地の湛液ができません。洗い流しによる矯正が難しい場合は、ココバッグを交換する必要があります。

ココバッグは十分な在庫を常時確保していますが
輸入商品であり国内外の情勢の影響を大きく受けます

ココバッグの更新を予定されている方は
お早めにご注文ください！